

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公開番号】特開2013-11776(P2013-11776A)

【公開日】平成25年1月17日(2013.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-003

【出願番号】特願2011-145088(P2011-145088)

【国際特許分類】

G 03 B 17/14 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

G 03 B 17/14
H 04 N 5/225 F
H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月30日(2014.6.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮影モードを変更可能なカメラ本体に着脱可能であり、
光学素子と、

前記カメラ本体との間で、前記撮影モードに応じた通信方式で通信を行う通信手段と、
前記通信手段を介して得られた制御情報を用いて前記光学素子の駆動制御を行う制御手段と、を有するレンズ装置であって、

前記通信手段は、前記カメラ本体が動画撮影モードに設定されているときには、撮像タイミング周期に同期した同期通信モードで前記カメラ本体と通信を行い、前記カメラ本体が静止画撮影モードに設定されているときには、前記撮像タイミング周期に非同期の非同期通信モードで前記カメラ本体と通信を行うことを特徴とするレンズ装置。

【請求項2】

前記制御情報を記憶する記憶手段を更に有し、

前記制御手段は、前記カメラ本体の撮影モードの切り換えが行われると、前記撮影モードの切り換え前に受信されて前記記憶手段に記憶された制御情報を、前記切り換え後の撮影モードに応じた制御情報に変換することを特徴とする請求項1に記載のレンズ装置。

【請求項3】

前記動画撮影モードに応じた制御情報と前記静止画撮影モードに応じた制御情報は、互いに異なる単位を有することを特徴とする請求項1または2に記載のレンズ装置。

【請求項4】

前記同期通信モードは、前記撮像タイミング周期の整数倍ごとに通信が行われる通信方式であることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のレンズ装置。

【請求項5】

撮影モードを変更可能なカメラ本体と、

請求項1乃至4のいずれか1項に記載のレンズ装置と、を有することを特徴とするカメラシステム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の一側面としてのレンズ装置は、撮影モードを変更可能なカメラ本体に着脱可能であり、光学素子と、前記カメラ本体との間で、前記撮影モードに応じた通信方式で通信を行う通信手段と、前記通信手段を介して得られた制御情報を用いて前記光学素子の駆動制御を行う制御手段と、を有するレンズ装置であって、前記通信手段は、前記カメラ本体が動画撮影モードに設定されているときには、撮像タイミング周期に同期した同期通信モードで前記カメラ本体と通信を行い、前記カメラ本体が静止画撮影モードに設定されているときには、前記撮像タイミング周期に非同期の非同期通信モードで前記カメラ本体と通信を行う。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の他の側面としてのカメラシステムは、撮影モードを変更可能なカメラ本体と、前記レンズ装置とを有する。